

老若男女、各分野で活躍するさまざまな「四日市人」を取材して、その人の言葉で四日市の魅力などを読者に伝えるコーナーです。
CTY「ちゃんねるよっかいち」でも紹介します。
放送日時：8月11日～9月10日 9:00・20:30

○外から見た四日市を知りたくて九州へ

外の世界も見ながらまちづくりを学びたいと考え、北九州市の大学に進学しました。たくさんの人とつながる中で、北九州は第二の故郷となりました。

大好きな北九州の人たちに、大好きな地元、四日市のことを伝えたいと思うようになり、大学3年の時、四日市を知ってもらう「物産展」を発案しました。

○四日市の魅力を伝える「地元じまん物産展」

最初は、じばさん三重で購入したお土産を大学の一角に飾ったことから始まりました。その後、「売ってみたら」との後押しを受け、仲間と、それぞれの地元の魅力を紹介する「地元じまん物産展」を企画し、大学3年の1月に、北九州市を構成する旧五市制覇を目標に始めました。

旧五市制覇の前に、最後に残っていたのが若松区でした。行ったこともない地区でしたが、大学4年の10月、知人からコミュニティFM局の社長、そして商店街の方とつないでもらい、11月には火災で空き地になっていた場所で行われた「青空市」に参加することができました。

1月には、十日えびすの同時開催イベントとして学生最後の物産展を開催しました。地元の皆さんに準備や周知などたくさん協力してもらい、人と人とのつながりを感じることができました。



みなみかわとうこ
南川桐子さん

大学時代に、九州で四日市を紹介する「地元じまん物産展」や大矢知そうめんを使ったそうめん流しを企画するなど、四日市を愛してやまない南川桐子さんにお話を伺いました。

○ Tongue でつなぐ「ゴミサイズ」

十日えびすの時、ヨガの先生とともに、ヨガのポーズをゴミ拾いに取り入れた「ゴミ拾いヨーガ」を生み出しました。先日も、北九州に戻って参加してきました。

これからは、ヨガだけでなく、ダンスや拳法、ミュージカルなど、皆さんの得意なこととゴミ拾いをミックスした「ゴミサイズ」をいろいろな人にやってみてほしいです。ゴミのないきれいなまちを、自分たちで、楽しみながらつくっていければ、もっと前を向いて、凛としてハッピーにまちを歩けると思いませんか。

四日市ではまだ仲間探し中ですが、5年後には、ゴミ拾い用の Tongue をバトンに、全国を「ゴミサイズ」でつなぎたいと思っています。

勝手に



○夢は全国 姉妹都市！

4月からグラブスというコワーキングスペースでスタッフをしています。日々新たな出会いがあり、とても楽しいです。そんな中、私が北九州市を思うように、個人レベルで市民が市外とのつながりを強くしていく「全国勝手に姉妹都市計画」をひそかに夢見しています。大切な人のまちの情報は、記憶にも残るし、結びつきも強くなり、大切にできる。訪れる人も増え、文化交流も自然と生まれる。人のつながりが、案外一番の観光プロモーションだと思います。

有料広告掲載欄

建設職人なら誰でも入れる組合です



随時加入者
募集中

建労

四日市支部

三建国保

組合独自の
建設労働者の
健康保険

出産育児一時金 (42万円)
葬祭費 (本人10万円・家族7万円)
高額療養費、無料健康診断の開催
人間ドックに対する補助 (3万3千円)
脳ドックに対する補助 (2万円) など

三重県建設労働組合四日市支部 四日市市ときわ5丁目1-8 ☎(059)354-1531(代)

本欄は広告であり、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。